



今月のテーマ 『ロータリー財団月間』

第1479回例会

2017年6月8日 Vol.31 / No.43

■本日の例会 / 第1480回 平成29年6月15日(木)

- 会長・幹事報告
- 各委員会報告…各委員長
- イニシエーションスピーチ…佐藤龍三郎 新会員、
松岡敬三 新会員
- 年間総括プログラム…各委員会 五大奉仕、小委員会

【出席率状況報告】

- ・会 員 数 ……………55名
- ・出 席 者 ……………39名
- ・欠 席 者 ……………16名
- ・出 席 率 …………… 70.91%
- ・ 5 / 25 の修正出席率… 75.00%

■会長挨拶

会長 香川美穂子



こんにちは。先週の例会で渡邊社会奉仕委員長から来年2月に行われますひむかかるとの大会について報告がありました。公立大学からの予算がなくなり心配いたしました。今年度分は何とか調達でき開催できそうとの事何よりです。ただ10万～20万が不足なので募金をするとのお話でしたね。ひむかかるとの大会における宮崎中央ロータリークラブの位置づけは「後援」となっていたと思います。この大会は日本の伝統文化である「かるた」を通して郷土愛を育てる大変教育的なものです。是非継続して、社会奉仕だけではなく青少年への奉仕の一つとしてお手伝いのチャンスと位置づけ協力が出来ると良いのではないのでしょうか。お正月前にかるとの普及になればと県内をシンガーのきりんさんと回りました。そのきりんさんは東北や熊本の被災者たちの支援もなさっているのでそのご紹介も兼ねて3月の夜間例会・観桜会に来て頂きました。その折皆さんに被災者支援の募金をお願いし16000円ほどご協力頂きました。そのお金について、きりんさんから「5月18日からの福島市や陸前高田市におけるコンサートに使わせていただいた」と領収書や報告書が届きましたのでここにご報告致します。彼女の東北支援はお一人で準備や当日の演奏もありながら煩雑な事をもこなしておられ、預かったお金に関しては必ず報告をさせていただきます。こう言う一つ一つの行動がお互いの信頼を築く大事な事だと思います。「信頼」とは「信じて頼る」と言う事ですが「信じられない」そして「頼れない」人間関係は不信感に満ち殺伐たるものとなり人としての「社会」を築き上げる事も出来ないでしょう。

気をつけなくてはと思います。

■幹事報告

平松 寛 副幹事



7月29日(土)第5期RL
I-2730パートI 運営委員のお願い

クラブより1名の運営委員の派遣をお願いいたします。

2017年～2018年 ガバナー事務所より「寄付金0クラブ解消」達成のお願いが届いております。

第52回インターアクト年次大会開催の案内

8月5日(土)～6日(日)

高原町総合保健福祉センターほほえみ館

13時30分 登録受付

参加をよろしくお願いいたします。

■年間総括報告



ロータリー情報・研修

篠原英介 委員長

入会三年未満の会員向けセミナーの開催には至りませんでした。が、若手の勉強会(中央学習会)のたちあげを誘発する事ができて良かったです。次年度は、講師の飲み物代程度の支出はあっても良いのではないかと思います。また、地区セミナーに参加、規定審議会の内容を発表しましたが、その際、改めてロータリーの国際的な面を知ることができました。一方で、新入会員オリエンテーション(会長・幹事・委員長)を実施しましたが、ロータリーの仕組みや語句等のほかに、中央クラブ活動や特色を謳った内容を整理して伝えると良いと思いました。



プログラム 井上真由美 委員長
活動方針に掲げました会長・幹事・SAAとの連携で例会運営をスムーズに行なえるようにするという点は上手くできたか

なと思っています。ただ、今年度は親入会員が少なくインニエーションスピーチがあまり入らなかったのが会員卓話と外部卓話を増やさないとはいけなかったことが少々たいへんでした。

反省としましては、ガバナー公式訪問の時のフォーラムで大重ガバナーより、会員全員が皆の前で話せる機会を作る為に3分間スピーチを薦められていましたが、人数に余裕がなくてプログラムにくみ入れられなかった事です。以上、プログラム委員会の私の総括とさせていただきます。新田副委員長、会員の皆様、1年間の御協力に感謝致します。ありがとうございました。



クラブ会報 坂本弘史 委員長

私達の活動というのは、当たり前ですけど、例会ごとの週報作成です。その中で私達の仕事は、写真撮る事と、早めの原稿提出をお願いする事です。ゲストの写真を一度取り忘れた以外は大したミスもなくやってきました。本当に大変なのは、事務局の奥野さんと日高印刷さんです。おふた方に深い感謝の意を表したいと思います。



職業分類増強 高野広美 委員長

みなさんこんにちは。職業分類・会員増強委員会の高野です。今年度は平沼会員、川崎会員の3名で担当いたしました。委員長として何の役にも立てなかったわりにはあっという間の1年でした。

会員増強の今年度の大きな目標は純増3名でした。会社の異動に伴う入会者を除いて新たに3名入会いただきましたが2名の退会があり結果として現時点では1名増であります。

私は会社勤めですが、どこの会社も同じようにお客様数の維持は至上命題であります。離れていくお客様があれば新たなお客様の獲得へ向け組織をあげて行動します。しかし、ロータリーで仲間

を増やすには会社みたいな組織はありません。会員の皆様一人ひとりの協力をいただいでいくしかないことを改めて感じた1年でありました。幸いなことに、今年度は私が知る限り10名程度のご紹介を頂きました。ただ、私の不徳のいたすところで満足する結果とはならなかったことをお詫びいたします。この反省を次年度に生かして頂きたいと思います。この1年間の皆様ご協力に感謝申し上げます。ありがとうございました。



会員選考 鳥山 浩 委員長
委員会引継ぎ書

会員から新入会員の推薦がクラブに提出した時点で、会員選考委員会にあがってくる。

これを受けて、会員として相応しいか委員会として調査及び聞き取り（本人以外の人）をする。

自分でインターネットを通じ、自分の交友関係から、その人のことを調べる。確認のために推薦者にその人なりの人物象を尋ねる。また、職業分類で同業者が居れば、その人に問い合わせ、意見を聞く。

転勤異動による交替であれば、前任者の話を聞いているので、ほぼ無条件である。

選考の結果を事務局に報告し、理事会に諮られる。

今期は、このような状況で選考を行った。



職業奉仕 江口健一 委員長

活動計画に掲げた 職業奉仕月間にゲスト卓話 くすのき賞の選定 職場訪問の実施 インターアクトクラブ 宮崎海洋高校での模擬面接の協力等初めてのことだったのでなかなか大変でしたが 皆様の協力のもと今年度を終える事が出来たことに感謝しています。

1年間 ありがとうございました。



トライアスロン

高橋誠司 委員長

宮崎シーガイアトライアスロン大会へ特別協賛とし、多くの会員のボランティア参加を募る。を掲げて行ってきました。

発行/ **宮崎中央ロータリークラブ**

●事務局 〒880-0804 宮崎市宮田町10-25 宮田町ビル TEL.0985-22-6767 FAX.0985-22-0288
●例会場 〒880-8545 宮崎市山崎町浜山 シーガイアコンベンションセンター TEL.0985-21-1155(毎週木曜 12:30~13:30)
会長/香川美穂子 副会長/三輪修珍・田中 寿 幹事/江藤敏治

今回クラブに入って初めての委員長をやらせて頂き、右も左もわからないまま行いましたが、前片木委員長の的確なアドバイスと優しい支援受け、7月10日第18回シーガイアトライアスロン大会当日の選手エントリー支援や、当日の大会後方支援として宮崎中央ロータリークラブ一丸となってボランティア活動を行なうことが出来ました。

会員からのバナー広告掲載募集についても多くの参加があり、又、救急の面でもサポートとしましたが大きな事故など無く宮崎中央ロータリーの皆様の熱い応援でもりあげることができました。

来年度は、7月9日に開催されますのでサポート役に回りたいと思います。

人間として成長できる場を与えて頂きありがとうございました。



青少年奉仕 黒木雄一 委員長

青少年奉仕委員会は、今年度の行事をほぼ終え、残すところ龍山ロータリークラブとの青少年交換事業も皆様のご協力で見通しが立ったところですが、この一年を振り返った時、苦戦を強いられた1年でした。

本年度の地区青少年奉仕委員長の加治木クラブの岩澤さんは青少年の育成に特別ご熱心な方ですが、次年度の委員長であるローターアクト委員会の計画の中で「栄枯盛衰をくり返しながら、ローターアクトの若者は必死にクラブ運営に取り組んでいます。これを支援し、活動を広げるのが我々委員会の努めです。ローターアクトの例会や活動に参加し、一緒に汗をかきながらロータリーを楽しみましょう」と呼びかけています。私も全く同じ思いです。

今年度の活動を振り返ると私なりに努力したつもりですが、意に反して当初の計画に添えない結果になりました。ローターアクトの活動を始め、次世代の育成は重要な課題ですが簡単ではありません。引き続き皆様のお力添えをよろしくお願いいたします。



インターアクト

長友久人 委員長

当初は希望に満ちた活動計画を立てて、活動をスタートさせましたが、委員長の病気による急な退会があったり、思うような活動が出来なかったというのが正直な感想です。

提唱校である宮崎海洋高等学校のインターアクト生は1名のみで、シーガイアトライアスロン大

会のボランティアの際は、多くの協力をいただいて10名で参加できました。インターアクト生の増強が最重要問題だと思います。

8月25日の模擬面接にはこちらから面接官20名、生徒は90名以上の参加がありました。

また、ペットボトルキャップの回収では会員のみなさんにも協力していただき海洋高校に届けています。海洋高校では6年前から、イオングループの社会貢献活動に協力して収集を行っているそうです。これからも第4例会での回収にご協力いただきますよう、宜しくお願いいたします。

ハッピーボックス (敬称略)

●坂本弘史…誕生日お祝いありがとうございました。

出席委員会報告

岡田圭史 委員長

◆5/25 メイクアップ者名 (敬称略)

新地康宏、秦喜八郎、湯浅敏幸